

文じまりの読解
答え

- この本では、文じまりの中の「ことば」を、正か不正かで読み分けます。ただ、言
- い方の「ことば」で答えてもかまいません。
- ポイントは、答え方や、読み分ける「ことば」を、正か不正かで読み分けます。答え合わせ
- いじま「ことば」読み分けます。
- くくちや、ほかの答え方です。
- () は、※は、ほかの答え方です。
- **正しい**の答えは、ただ、内じまが書いていれば、正か不正です。

1 どう話の読みとり(1)
「だれが」の「ことば」①
ページ 1・2

- 1 (1) けん
- 2 (1) さゆり
- 3 (1) ゆうと
- 4 (1) ゆみ
- 5 (1) 妹
- 6 (1) あきら

2 どう話の読みとり(1)
「だれが」の「ことば」②
ページ 3・4

- 1 (1) かずや
- 2 (1) 弟 (2) わたし
- 3 (1) はると (2) ゆうた
- 4 (1) なおみ (2) わたし

3 どう話の読みとり(1)
「だれが」の「ことば」③
ページ 5・6

- 1 (1) たつや
- 2 (1) ちあき (2) いったたち
- 3 (1) ぼく
- 4 (1) あや

(2) 男の子

ポイント

「ありがとう。」と「言ったのは、男の子だね。」

4 どう話の読みとり(1)
「だれが」の「ことば」④
ページ 7・8

- 1 (1) かずき
- 2 (1) りん
- 3 (2) わたし
- 4 (1) ひろと (2) そうすけ

5 どう話の読みとり(1)
「だれが」の「ことば」⑤
ページ 9・10

- 1 (1) 弟 (2) お父さん
- 2 (1) あかり (2) お母さん
- 3 (1) 先生 (2) ぼくたち
- 4 (1) りお (2) ささき

6 どう話の読みとり(1)
「どうした」の「ことば」
ページ 11・12

- 1 (1) けりました
- 2 (1) 読みました
- 3 (1) 帰って きました
- 4 (1) とり出しました
- 5 (1) 来ました (2) たたきました

7 かくにんドリル(1)

ページ 13・14

- 1 (1) お日さま (2) ねぼう

- (3) 竹やぶ・雪・ふきのとう

※じゅんじよは、ちがつてもよい。

- (4) はるかぜ (5) はきました
- (6) 竹やぶ (7) 雪

ポイント

(6)・(7)は、おわりの「はるかぜにふかれて、水になる。」のところを読もう。

8 「何が」の「ことば」

ページ 15・16

- 1 (1) 鳥

- 2 (1) 魚

- 3 (1) ボール

- 4 (1) 花

- 5 (1) 空 (2) 雨

9 「何が」の「ことば」

ページ 17・18

- 1 (1) 木のは (2) かえる

※(1)「は」でもよい。

- 2 (1) 車 (2) にもつ

- 3 (1) めだか (2) たまご

- 4 (1) 風 (2) まど

10 どう話の「ことば」

ページ 19・20

- 1 (1) きのうち

- 2 (1) 夕方

- 3 (1) 朝

- 4 (1) 日曜日

- 5 (1) 昼休み (2) ほうか後

11 どう話の「ことば」

ページ 21・22

- 1 (1) へや

- 2 (1) にわ

- 3 (1) 校てい

- 4 (1) 草むら

- 5 (1) 公園 (2) すな場

12 かくにんドリル(2)

ページ 23・24

- 1 (1) やねの上

- (2) はじまる おしらせ

ポイント

「すずめの学校が はじまるおしらせよ。」とおかあさんが言っているね。

- (3) ①はる ②子すずめたち

- (4) ①とびかた ②さがしかた

- (5) 学校

- (6) おかあさん

13 せつ明文の 読みとり(1)
なんの話① ページ 25・26

- 1 (1) バッタ
- 2 (1) コオロギ
- 3 (1) ミツバチ
- 4 (1) トビウオ

ポイント

1 「バッタの おすと めす
は、 2 「コオロギの おすは、
3 「ミツバチは、 4 「トビウオ
は」のように、「は」という
ことばに 気を つけよう。

14 せつ明文の 読みとり(1)
なんの話② ページ 27・28

- 1 (1) おしり
- 2 (1) なめる
- 3 (1) くらし
- 4 (1) 羽
- ② 音

15 せつ明文の 読みとり(1)
なんの話③ ページ 29・30

- 1 (1) たまご
- ② (1) ミカン
- ② キヤベツ
- 2 (1) 時間
- ② (1) 夕方
- ② 午前中

16 せつ明文の 読みとり(1)
なんの話④ ページ 31・32

- 1 (1) 土の 中
- (2) 前足
- (3) シャベル
- 2 (1) 林 (2) 木のは
- ※ (2) 「は」でも よい。
- (3) 冬

17 かくにんドリル(3)
ページ 33・34

- 1 (1) 一か月

ポイント

「たまごは、およそ 一か月後ごに
よう虫に なります。」という
文から、たまごから よう虫ま
では、およそ 一か月 かかる
と わかるね。

- (2) ①かわにな ②貝の 肉
- (3) だっぴ
- (4) ①四月 ②雨
- (5) やわらかい 土
- (6) へや

18 どう話の 読みとり(3)
どんな ようす① ページ 35・36

- 1 (1) 赤い
- 2 (1) 大きな
- 3 (1) きれいな
- 4 (1) ぶよぶよ

19 どう話の読みとり(3)
どんな ようす② ページ 37・38

1 (1) ゆっくり

※「ギーギーギーと」でもよい。

2 (1) ぱっと (2) ぴよんぴよん

3 (1) ぶるぶる

4 (1) きらきら

(2) ぐっすり

ポイント

(1) は 星が 光って いたよ
うす、(2) は おじいさんが ね
むった ようすを あらわす
ことばだよ。

20 どう話の読みとり(3)
どんな ようす③ ページ 39・40

1 (1) 戸

2 (1) コップ

(2) そうじき

3 (1) けんと

4 (1) ① なみ

② かずや

21 どう話の読みとり(3)
どんな ようす④ ページ 41・42

1 (1) とび上がりました

2 (1) ① あぶない

② さけびました

3 (1) うれしそう

4 (1) 元気が ない

22 かくにんドリル(4) ページ 43・44

1 (1) やせた

(2) ① 太らせて

② たべよう

(3) ぶるると

(4) イ

ポイント

「きつねは、心の中で にやり
とわらった。」という 文が
ら きつねの ようすが 分か
るね。

(5) ぼうつと

23 せつ明文の読みとり(2)
どんな じゅんじよ① ページ 45・46

1 (1) アー

イ3

ウ4

エ2

2 (1) アー

イ3

ウ2

エ4

24 せつ明文の読みとり(2)
どんな じゅんじよ② ページ 47・48

1 (1) アー

イ3

2 (1) アー

イ4

ウ2

エ3

ウー

エ3

ポイント

はじめに 体を作って、つき
に 頭を作り、そして、
を ととのえ、おしまいに
や 手を 作るよ。
顔形

25 セツ明文の読みとり(2)
どんなじゅんじょ③
ページ 49・50

- 1 (1)ア…1 (1)イ…3
- (2)ウ…4 (2)エ…2

ポイント

文のはじめのことに気をつけて読もう。

- 2 (1)ア…3 (1)イ…1
- (2)ウ…4 (2)エ…2

26 セツ明文の読みとり(2)
文をつなぐことは①
ページ 51・52

- 1 (1)おきた
- (2)した
- 2 (1)だから
- (2)それで

ポイント

「だから」「それで」は、前の文につづいて、後に、そのけっかがくるときにつかうよ。

- 3 (1)おきなかった
- (2)出なかった
- 4 (1)でも
- (2)しかし

27 セツ明文の読みとり(2)
文をつなぐことは②
ページ 53・54

- 1 (1)一ぴき (2)しかし
- 2 (1)でも (2)それで

28 かくにんドリル(5)
ページ 55・56

- 1 (1) **れい** たまごを うむ **ため** (です)。
- (2)イ (3)きれいな
- (4)ぐみのみ
- (5)イ (6) **2**

ポイント

文しょうは、秋、冬、春のじゅんじゆで書かれてあるよ。

29 どう話の読みとり(4)
どんな気持ち①
ページ 57・58

- 1 (1)うれしく
- 2 (1)かなしく
- 3 (1)楽しく
- 4 (1)うれしい
- 5 (1)かなしい
- 6 (1)くやしい

ポイント

「うれしくて」「うれしい、
「かなしくて」「かなしい、
「くやしくて」「くやしい、
と かけるよ。

30 どう話の読みとり(4)
どんな気持ち②
ページ 59・60

- 1 (1)うれしい
- 2 (1)はずかしい
- 3 (1)さびしい
- 4 (1)こわい

31 どう話の 読みとり(4)
どんな 気もち③

ページ 61・62

1 (1)とび上がった

2 (1)しよんぼりした

3 (1)どきつと した

4 (1)どなりつけた

5 (1)①はつと ②のんだ

ポイント

「いきを のむ」は、「ひどく おどろいて、いきを 止める」ことだね。

32 どう話の 読みとり(4)
どんな 気もち④

ページ 63・64

1 (1)さか上がり

2 (1)二ちやく

3 (1)チツチ

4 (1)おちそう

33 どう話の 読みとり(4)
どんな 人

ページ 65・66

1 (1)こらえ

ポイント

みゆは、あつしが いたいのを こらえて いる ようすを 見て、かんしんしたんだね。

(2)がまん強い

(1)すいた

※「グーグー 鳴った」で

も よい。

(2)やさしい

34 かくにんドリル(6)

ページ 67・68

1 (1)ア

ポイント

ねこは、もうじき 子ねずみを 食^たべる ことが できると 思^{おも}い、思^{おも}わず わらいが 出て しまったんだよ。

(2)食って〈食べて〉

(3)イ

ポイント

――の 後^{あと}の ねずみたちの ことばを 読^よんで みよう。ねずみたちは、ねこの「ニャー」「さよなら」だと 思^{おも}ったんだね。それで、ねずみたちも「さよなら」の つもりで「ニャー」と さげんだんだね。

(4)こんにちは

35 せつ明文の 読みとり(3)
だいじな ところ①

ページ 69・70

1 (1)大きく

(2)アね

(3)広い

①広げられる

2 (1)あせ

(2)水分〈水〉

(3)アあせ

①体

36 せつ明文の 読みとり(3)
だいじな ところ② ページ 71・72

1 (1)ア角 (イ)丸い

(2)アごつごつ

イ けずられて

2 (1)近い

(2)少なく

(3)さがす

37 せつ明文の 読みとり(3)
だいじな ところ③ ページ 73・74

1 (1)アかたまって

イ やわらかく

ポイント

アは ②、イは ③の まとま
りを 読もう。

(2)ぬけやすく

2 (1)切れる

(2)にげる

ポイント

切れた しっほに、てきが 気
をとられるんだね。

(3)はえて

38 せつ明文の 読みとり(3)
なんの まとまり ページ 75・76

1 (1)③

(2)④

2 (1)ア…②

(2)のびない

①…③

39 かくにんドリル(7) ページ 77・78

1 (1)ブロッコリー

② なす

③ キャベツ

ポイント

①「はを 食べる やさい」の
キャベツに ついて、②「花を
食^たべる やさい」の ブロッコ
リーについて、③「みを 食^たべ
る やさい」の なすに つい
て 書かれて いるよ。

(2)①玉のように

② まきながら

(3)① ④

② ⑥

(4)地面の 下に のびた

くきの 一部

(5)下

40 詩の 読みとり ページ 79・80

1 (1)生きているから。

(2)まっか

(3)みみず・おけら・あめんぼう

※じゅんじよは、ちがって
も よい。

2 (1)どっしり すわった 山。

(2)① しっかりやれよ ②

(3)③ だいじょうぶだよ ④

41

しんだんテスト(1)

ページ
81・82

- ① なきたいのか おこりたいのか 分からない

② イ

③ れい かりんちゃん

(ノートに)かいた ぐちゃぐちゃのもの

④ ①水を やった

② コスモス

⑤ じっと。ずっと。

⑥ かわいく

42

しんだんテスト(2)

ページ
83・84

- ① だまして やろう

② 「さあ、わからないね。」

③ ①海の 間

② 一列に

④ ①あつまってきた

② ならびました

⑤ (思わず) さげんでしまいました。

ポイント

わに(さめ)を だまして、海うみを わたりきる ことが できると 思った おもうさぎは、うれしく なって さげんで しまったんだね。

⑥ わにたちへ(さめたち)

43

しんだんテスト(3)

ページ
85・86

- ① 何の ために

② ①ない

② ある

③ 2

④ ①出す ②空気

⑤ 出なくなってしまう。

〈出なくなってしまう〉

※ 「出ない」ということが 書かかれて いれば

よい。

⑥ ウ

44

はってんテスト

ページ
87・88

- ① ①アストロー ①竹ひご

② ウ

③ ペットボトルの ふた

④ ねん土

⑤ イ

ポイント

「ままず、」「つつぎ、」「それから」と つづいて いるから、ここに入るのは 「さいさい後に」だね。

⑥ ①ア外れない ①イしっかり